

「空堀川流域広域雨水整備検討協議会」第1回幹事会

1 日時・場所

平成29年12月20日（水） 15時30分から16時30分まで
流域下水道本部庁舎3階301会議室

2 出席者

別紙出席者名簿のとおり

3 議題

- (1) 現況調査結果・現況解析結果について
- (2) 対策案の検討方針について

4 配布資料

議事次第

資料1 現況調査結果・現況解析結果について

資料2 対策案の検討方針について

5 議事録

[幹事長挨拶]

[現況調査結果・現況解析結果について事務局より説明（資料1）]

立川市環境下水道部下水道工務課長

今回使用したシミュレーションモデルには、浸透施設も考慮しているのか。

[事務局]

道路排水管、浸透施設の他、貯留施設も考慮している。

東大和市都市建設部下水道課長

シミュレーション結果の妥当性について、どのように判断しているのか。

[事務局]

今回、浸水発生時の降雨データを用いたシミュレーションにおいて、各市にお示しいただいたこれまでの浸水箇所が再現されていることから、妥当性があると考えている。

[検討内容について事務局より説明（資料2）]

武蔵村山市都市整備部道路下水道課長

幹線ルート案の検討において、各市が単独で整備する場合と複数市が連携して整備する場合を検討する、とのことだが、単独で整備する場合とは、各市がそれぞれ整備を行

う、というものなのか、それとも、流域下水として各市個別に幹線を入れるというものなのか。

[事務局]

各市がそれぞれ整備を行う場合を示している。現状として、各市の単独整備なのか複数市の連携整備なのか、手法が確定していないため、まずはどちらの整備手法が良いのかを検討していかなければならない。

立川市環境下水道部下水道工務課長

立川市単独で整備する場合と他の市と連携して整備する場合とを比較するときは、管径や費用などで評価し、より効率的なものを選ぶという認識でよろしいか。

[事務局]

建設費や維持管理費を含め、経済性や被害軽減効果などを評価対象とし、最適なものを選ぶための比較検討を行う。

武蔵村山市都市整備部道路下水道課長

公園などへの貯留施設の新設や、既存の貯留・浸透施設の活用などについては、今回の検討では考慮するのか。

[事務局]

幹線ルート案を検討する段階では、既存の貯留・浸透施設は考慮せず、計画降雨による雨水を下水道が流下させるように整備計画を策定する。その後、段階的な整備の検討を行うが、整備効果の早期発現のため、事業実施の方法として一部先行整備や暫定整備を行う、という選択も考えられる。その際には既存の貯留・浸透施設の効果も考慮していく。

なお、幹線整備完了後の既存の貯留・浸透施設の取扱いについては、流域対策の施設として位置づけることができる、と考えられる。

[事務局]

流出係数について、過去の検討による計画値より上がっている地区がある。今後検討を進めるにあたって、資料で示した現況値を採用しようと考えているが、各市の意見を伺いたい。

3市課長

持ち帰って整理の上回答する。

「空堀川流域広域雨水整備検討協議会」

第一回幹事会 出席者名簿

所 属	
都市整備局	都市基盤部施設計画担当課長 【幹事長】
下水道局	流域下水道本部技術部計画課長
立川市	環境下水道部下水道工務課長
東大和市	都市建設部下水道課長
武蔵村山市	都市整備部道路下水道課長